



80年という時間は流れ、被爆体験とは

80年前、長崎で被爆された宇佐市在住の奥城先生にお話ししていただきました。

原爆の投下された直後の長崎は、到底言葉で表現できない惨状だったことでしょう。

幼少期の先生自身も、身体的・精神的な苦痛は計り知れません。私たちが写真でみても、目をふさぎたくなるそれが、現実目の前にあるという経験をされています。

高齢になられても、今なお情熱を持ち「二度と被爆を経験させない」という思いだけで、その恐ろしさや平和の尊さを私たちに伝えようという決意が感じられるお話でした。



平和への思い
をこめて

太陽の家 視察



8月19日、太陽の家を見学させていただきました。建物の中は、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会を感じられる空間でした。障がいのある方も、ひたむきに働いている姿に感動しました。

交流の時間も素晴らしい思い出になりました。感謝



車いす経験
軽くて、小回り
もききます



マイナスイオン
を感じる滝



たこ焼き
焼きそば



プチ夏祭り



生徒会の皆さんが主体的に考案した上記イベントを8月23日に行いました。

内容は、「東椎谷の滝」見学「たこ焼き・焼きそば」大会、曲無双ときれいな景色、美味しい食事、楽しい曲と思い出に残る時間となりました。

今年も熱かった甲子園

この夏、インターハイや甲子園など高校生に、スポーツを通して成長する姿や私たちに感動を届けていただきました。

甲子園は、LIVE中継され注目度の高いスポーツです。注目されるチームが多い中、今回は次のチームの監督を紹介します。

仙台育英高校野球部の須江航監督です。優勝した沖縄尚学に惜敗しました。試合終了後、沖縄尚学の選手一人ひとりに声かけして選手を讃える監督と仙台育英の選手たちも礼儀正しく見送る姿は、爽やかなシーンでした。

9月17日 開催 メンタルケアについて

福祉施設や医療機関、行政で働く皆さんが協力して、障がいのある方が、このまちでイキイキ暮らせるよう活動しています。

障がいのある方の理解をひろめるための内容は、私たちもすこし元気になるヒントとなるかもしれません。

また、私たちは、「知らない」ことで差別や偏見を持ってしまうことがあります。このように「学ぶ」時間は、とても大切なことです。ぜひ、参加しましょう。